



# 西前小だより



横浜市立西前小学校 Web: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nishimae/>

“ONE TEAM” ~裏方で支える人がいるからこそ~ 校長 鳥飼信幸

緊急事態宣言は解除となりましたが、子どもたちが感染しないように、本校では新型コロナウイルス感染

拡大防止に努めております。教育活動にはまだまだ制限があります。そんな中、6年生は日光修学旅行へ

行ってまいりました。電車・バス、宿舎など、感染防止を徹底しながら、今できることを工夫して楽しんで

いました。先月号にも記載した通り、6年生も「前向きな気持ち」でした。紅葉のトップシーズンで自然の

美しさと、日光東照宮境内には国宝級の建造物が並び、その豪華絢爛な美しさは圧巻でした。ご家庭でも

思い出話をお聞きになったと思います。ご協力ありがとうございました。また、手前みそになりますが、

感染防止を徹底した企画・運営を行った6年生の先生方の力もありました。

さて、12月2日に市民局主催、ラグビーワールドカップレガシー事業の一環でラグビーの授業を行い

ます。ジャパンラグビー・リーグワン（国内最高峰リーグ）の横浜キャノンイーグルスの選手が来てくれ、

本物のラグビーを体験できます。ラグビー部だった私にとって「いっしょにラグビーができるばい」

（博多弁）と興奮しております。母校は福岡県大会で負けてしまいました。花園（高校ラグビー全国大会）

出場とはなりませんでした。きっと後輩たちも私と同様、ラグビーを通して様々なことを学んだと

おもいます。

以前、ラグビーの授業を行い、指導して下さった元ラグビー日本代表の湯原祐希さんが一昨年

亡くなりました。36歳という若さで、あまりにも急過ぎる悲報でした。2度のワールドカップ代表に

選ばれた名選手でしたが、近年は控えの控えでした。何とかチャンスをつかもうと、「できることはなん

でもやる」と努力を続けたとともに、控え選手としての別メニューの練習では、「練習のつらさを分かっ

てくれ」と、思っていたそうです。そんなとき、試合に出る選手から「『頑張れ』『頑張れ』と励まされ嬉し

かった。」と話していました。控え選手だからこそ感じたことを心に留めて裏方で支える役に徹した人柄、

気さくで自然体。ラグビーの厳しさや面白しさを、説得力をもって伝えられる人でした。

湯原さんといっしょに元日本代表キャプテンの廣瀬俊朗さんと元日本代表の大野均さん、そして、元女子日本代表の谷口令子さんが来てくれました。

湯原さんは、子どもたちに大人気でした。子どもたちに寄り添い、子どもたちに笑顔でかわり、子どもたちに積極的に話しかけ、子どもたちが「こうしたい」「ああしたい」というプレーと一緒に考え、安全に配慮しながら、ダイナミックで発想豊かなプレーを指導していました。子どもたちは湯原さんに心を開き、笑顔で元気に、ラグビーを楽しんでいました。初めてラグビーをした子どもたちも、「ラグビーは楽しい」「湯原さん、優しい」と言って湯原さんに突進していました。

子どもたちの心を開かせることは、私たち教師にとってとても難しいことです。その日の一瞬でそれができる湯原さんをリスペクトしました。そんな湯原さんが亡くなられたことが悲しいです。

試合に出場できる選手を裏方で支えるということは、同じ選手として複雑な気持ちです。私はケガに次ぐケガで、ラグビーも勉強もやる気がなくなり、何もかも中途半端になってしまいました。先輩たちの決勝戦も「早く負けて終われ」とまで思っていたほどでした。湯原さんはラグビー日本代表なので、私とは雲泥の差はありますが、落ち込んでいたことは想像できます。それにもかかわらず、献身的に選手を支え、練習相手に徹した行動には本当に頭が下がります。私にはできません。2015年のラグビーワールドカップ南アフリカ戦後の写真で、廣瀬さんの横でユニフォーム姿ではない湯原さんの笑顔が、何よりも選手のみみんなのために裏方で支えたことを誇りに思っている証明だと感じました。湯原さんも含めた、まさしく“ONE TEAM”となった瞬間だったと思います。

学校では、主役の子どもたちのために、湯原さんのような想いで私たち先生・職員も裏方に徹していきます。

さらに裏方で支える一人として、本校を卒業した高校生が早朝等に学校周辺のごみを拾ってくれています。それもたった一人でごみ拾いをしています。とっても素敵な高校生です。卒業しても母校のことを思い、後輩のために行動していることも裏方で支えてくれる一人です。また、学援隊の方々も校門付近の落ち葉やごみ拾い、清掃をしてくださっています。そして、地域の方々も学校周辺の清掃をしてくださ

ています。もちろん、<sup>ようむいん</sup>用務員さんも掃除をていねいしています。子どもたちのために、<sup>みな</sup>皆さんが裏方で支えてくださっている一人です。<sup>かんしゃもうしあげ</sup>感謝申し上げます。ありがとうございます。

私は4月からほぼ<sup>まいあさ</sup>毎朝、学校周辺のごみを拾っています。<sup>はんとし</sup>半年が経ち、<sup>おちている</sup>落ちているごみが少なくなってきた<sup>き</sup>感じがします。

コロナ禍で、教育活動が制限されています。しかし、子どもたちは、「今できることを」、「もっと<sup>そうぞうてき</sup>創造的に」、「みんなの力で」、そして、「“ONE TEAM”で」との思いです。私たち<sup>おとな</sup>大人が<sup>みならう</sup>見習うべきことが、子どもたち<sup>なか</sup>の中にありそうです。

まだまだコロナ禍は<sup>つづき</sup>続きそうです。子どもたちのために、<sup>ほごしや</sup>保護者、地域の皆様、そして、卒業生も

“ONE TEAM”で、今後もご<sup>しえん</sup>支援ご<sup>きょうりょく</sup>協力<sup>おねがい</sup>をお願いします。

私は、湯原さん、廣瀬さん、大野均さんからいただいたラグビージャージを<sup>きて</sup>着て、湯原さんの<sup>いし</sup>意思を引き<sup>ひきついで</sup>継いでいます。（<sup>こうちようしつ</sup>校長室に<sup>しゃしん</sup>写真とともにラグビージャージを<sup>かざって</sup>飾っています）



学校ホームページへのアクセスはこちらから→



### 【新型コロナウイルス感染症に関する連絡について】

新型コロナウイルス感染症に関連してお子様ご本人や同居のご家族がPCR検査を実施した場合、または、濃厚接触者と認定された場合は、必ず学校までご連絡をお願いします。

緊急の連絡をメール配信や学校ホームページで行うことがあります。随時ご確認いただくようお願い致します。